

様式第2号(第10条関係)

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称
令和5年度 第1回佐伯市文化財保存活用地域計画協議会
- 2 開催日時
令和5年8月18日(金) 14時00分から16時00分まで
- 3 開催場所
佐伯教育市民ホール まな美 3階 市民多目的ホール
- 4 出席者 7人
(佐伯市文化財保存活用地域計画協議会委員)
段上達雄(会長)、小柳和宏、安田晃子、平野憲司、半田慎二、河野文美、諸岡初音
以上、協議会委員7名
(事務局)
社会教育課 丸山課長、鶴原総括主幹、梅田副主幹、福田副主幹
以上、事務局4名
- 5 公開、非公開の別
公開
- 6 傍聴人数
0人
- 7 議題及び結果
 - ・佐伯市文化財保存活用地域計画の印刷原稿製作時のフォントについて
地域計画を印刷製本する際の本文フォントについて、事務局から案を提示し、協議によってUD教科書体とすることとした。
 - ・佐伯市文化財保存活用地域計画(素案)の修正事項への対応について
地域計画(素案)に対する文化財保護審議会及び文化庁からの指摘事項のうち、協議会へ意見を求めるべき内容について協議を行い、委員から意見を得た。
- 8 審議の内容
 - ・佐伯市文化財保存活用地域計画の印刷原稿製作時のフォントについて
地域計画を印刷製本する際の本文フォントについて、事務局から案としてUD教科書体とUD明朝体を提示した。
主な意見は以下のとおり。

- ・横書きの場合、教科書体のほうが行間が開いて読みやすい。ルビが多くても問題ない。明朝体は文字が大きく見えるが、行間が詰まって読みづらくなる。
- ・若い世代では、教科書体で書かれた教科書を使っているため、教科書体に馴染んでいる人も多い。
- ・佐伯市文化財保存活用地域計画（素案）の修正事項への対応について
 - 事務局より、地域計画（素案）に対する現在までの意見聴取の結果を報告し、指摘事項のうち主に第3章・佐伯市の歴史文化の特徴と関連歴史文化資源群、第4章・歴史文化資源の保存・活用に関する将来像と視点、について意見を得た。主な意見は以下のとおり。
 - ・佐伯市の歴史文化の特徴では、「2. 山のさいき」が宇目に偏った記述となっている。中世佐伯氏の支配拠点は弥生周辺であるし、近世でも2万石の石高の大半は山間部での水田で作られていた。キリシタンや芸能などの、山とは無関係に生まれた歴史文化は除外して、山特有の事柄に絞ると理解しやすくなる。
 - ・「4. 文化が交わりつながるさいき」では、日向道が戦争でも利用されたこと書く。戦争も他地域との関係性の一つ。また、最後の「多彩で豊かな文化」の具体例を示すと良い。
 - ・関連歴史文化資源群では、「⑦毛利高政」と「⑧歴代藩主と佐伯藩」は統合しないほうが良い。順番を入れ替えて、⑧で佐伯藩の歴史と「佐伯の殿様浦でもつ」となった背景を一通り紹介し、その後で、佐伯藩のバックボーンを整えた人物として、⑦毛利高政の経歴や事績を特筆して取り上げる構成とすれば、分かり易くなる。
 - ・将来像と視点については、3つの視点はそれぞれ主語が違っていることを意識して書くと分かり易くなる。「(1) 歴史文化資源の価値と楽しさを知る」は市民、「(2) 歴史文化資源を調査し、保護・継承する」は主に行政、「(3) 歴史文化資源を地域づくりに活用する」は主に地域や団体が主語となる内容。
 - ・視点の順番を入れ替え、「調査し、保護・継承する」「価値と楽しさを知る」「地域づくりに活用する」の順で記載すると、歴史文化資源の保存・活用のサイクルが分かり易くなる。

9 会議の資料名一覧

- ・佐伯市文化財保存活用地域計画（素案）
- ・印刷用レイアウト見本

10 問い合わせ先

担当課 佐伯市教育委員会 社会教育課 文化財係
 電話番号 22-4234（直通）